

～短期集中予防型通所サービス～

サービス内容

- ・週1回2時間程度
- ・全12回の通所と1回の訪問サービス
- ・送迎付き、利用者負担なし
- ・提供する主なサービス内容

◎生活の不安を取り除きます

アセスメントで突きとめた生活しづらさの原因を取り除き、自信をもって生活できるように支援します。

◎セルフマネジメントを可能にします

一人ひとりに合わせた健康を維持するためのポイントをお伝えし、サービス終了後も身体の状態を維持できるように支援します。

◎住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるようにします

通いの場等の地域活動はもちろん、趣味活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で生活できるようにお手伝いします。

専門職との**面談を中心**に上記を実現します。
通所日以外の、週6日をどう過ごすかを一緒に考えます。



令和元年度モデル実施の成果

サービス実施期間(令和元年9月～11月) サービス利用者(全23名)

サービス終了後、通所・訪問サービスを利用せず、生活された方が16名、「身体状況」「活動範囲」「心理状況」が改善された方はいずれも7割以上となりました。

サービス終了後、半年以上たっても、**6割以上**の方がセルフマネジメントを実施しながら住み慣れた地域で元気に生活されています。

専門職に聞く



理学療法士
岡崎 浩之さん

今までのデイサービスの概念は捨てる！

短期集中予防型通所サービスは自分がやりたいことを自分で選べるようになるサービスです。年を取って「できないことが増えてきた」「自信がない」。だからデイサービスやヘルパーをなんとなく利用する。そうではなくて、そこから『元の生活に戻るために利用する』のがこのサービスの特徴です。

昨年度の試行実施までは、私自身、このサービスで皆さんがこんなにも元気になるとは思っていませんでした。しかし一人ひとりと向き合うことで全員が元気になる可能性があると感じました。

『孫と走りたい』『ゴルフがしたい』など、自分の目標をかなえるためにちょっと勇気を出して3カ月だけ集中して頑張ってみませんか？

利用者の声

サービス利用前

自身で歩くことも難しかった。
自分でお風呂に入りたい、歩いて買い物に行きたいと思っていたが、サービス利用前は元気になるか半信半疑であった。

サービス利用中

少しずつ改善し、お風呂に自分で入ることができるようになった。サービス終了時には、自分でゆめタウンまで1時間かけて歩いていくことができるようになった。
包括職員や事業所のサポートのおかげ。

サービス終了後

今でもサービス時に習った運動を継続し、セルフマネジメントをしながら元気を維持できている。
サービス終了時はゆめタウンまで1時間かかっていたが今は35分で行けるようになった。
週2回ゆめタウンまで行っている(元気アップ体操・買物)

